

| 栽培暦 | | 3月 | 4月 | | 5月 | | | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | |
|-----------------------------------|--|---|---|--|--|---------------|--|-------------|---|-----------------------|-------------|---|-------------------------------------|
| | | 春 耕 | 種 子 消 毒 | 催 芽 | 播 種 | 育 苗 | 施 肥 | 代 掻 き | 田 植 え | 米 ぬ か 散 布 | 中 干 し | 追 肥 | 出 穂 |
| 有機栽培の 具体的な作業 | | 春耕 | 種子消毒 | 育苗 | 施肥,代掻き | 田植え | 雑草対策 (米ぬか除草法) | | 追肥 | | 稲刈り | 秋耕 | |
| | | | 温湯種子消毒 60℃の温湯に10~12分浸して種子消毒 | 無化学肥料育苗 有機肥料のみで育苗 播種量は少なく ※プール育苗は苗の病気対策に効果あり | 無化学肥料栽培 有機肥料のみで栽培 ※低地力田はリン酸施肥(熔リン,バットグアノ等) | 坪当たりの植え株数は少なく | 米ぬか除草法 米ぬかのワキで雑草を抑える100kg/10aを田植え直後に散布 N成分 2kg P成分 5kg K成分 2kg | | 無化学肥料栽培 即効性の有機肥料のみで追肥する ※有機栽培以外でも、追肥を水稲用ユキパーにすれば食味が向上。 | | | | 稲わらをすき込み地力増進 多年生雑草の球根等をさらして枯死させる |
| 花巻酵素製品(有機JAS適合)の使用例 | 水稲用ユキパー (有機肥料,食味向上) | | | | 即効性の有機肥料なので、代掻きの直前に施肥(元肥) | | | | 分けつ肥(出穂40日前まで) 穂肥(出穂25~10日前) 実肥(出穂~穂揃期/出穂10日目) | | | | |
| | 施肥量 (10a当り) | | | | 4袋(60kg) N成分 3.6kg P成分 2kg K成分 0.5kg | | | | 各1~2袋(15~30kg) N成分 0.9~1.8kg P成分 0.6~1.2kg K成分 0.1~0.2kg | | | | |
| | ライズ (土壌改良,藁対策,とろとろ層作り,食味向上,青米減少) ■発酵ケイ酸29%含有 稲に効果大 | 稲わら分解 田のワキ防止 有効ケイ酸補給 稲わらと一緒にすき込み(秋か春,1回) | | 根張りの良い健苗作り 微生物と発酵ケイ酸が苗を丈夫に (自然育苗用土,養分を使う場合は不要) | | | | | ※微生物と有効ケイ酸の補給 窒素過剰 茎葉を頑丈にしたい 若干追肥したい場合に 中干し頃に散布 | | | 稲わら分解 田のワキ防止 有効ケイ酸補給 稲わらと一緒にすき込み(秋か春,1回) | |
| | 施肥量 (10a当り) | 2袋 (30kg,粒状) | | 苗土に2%混合、土18%に2合(360cc) | | | | | 2袋(30kg,粒状) | | | 2袋(30kg,粒状) | |
| 自然育苗用土 自然育苗養分 (水稲専用有機床土)使用量 | | | 自然育苗用土 苗箱7枚/袋(覆土除き)又は 自然育苗養分 苗箱48枚/袋(別途,土と混合) | <p>■この水稻有機栽培暦は食味・安全に重点を置いたものです。収量が落ちる場合もあります。■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稲用ユキパー：魚かすを原料にした100%有機のボカシ肥料で即効性があります。 ・ライズ：貝化石に高発酵力の好気、嫌気性の微生物を培養した農業用の微生物資材です。肥料成分無し。ケイ酸29.7% カルシウム6.6%。土壌の改良、堆肥/緑肥/生ごみの発酵分解促進、ボカシ肥の発酵に使います。 ・作業時期、施肥量等は一例です。詳細は各地域の標準に従って下さい。 ・この例の総施肥量 N6.5kg P7.6kg K2.6kg (K(カリ成分)は稲わらのすき込みを前提。) | | | | | | | | | |

この水稻有機栽培暦の詳細は『「食味がよい」有機米栽培法』(説明書)をご覧ください。

・米ぬか除草をしないときは元肥の水稲用ユキパーを標準の6~8袋にします。